

うめのき幼稚園だより

4月

令和5年4月10日

北区立うめのき幼稚園

げんきもりもり

えがおにこにこ

ひとみきらきら

心が躍る毎日を支えて

園長 篠澤 恵理

お子さまのご入園・ご進級、誠におめでとうございます。

うめのき幼稚園の春は、創立から半世紀の月日を経て植えられた樹木の新緑と、色とりどりの花々に囲まれた中、新しい一年がスタートしました。昨年度、子どもたちと収穫を楽しんだ大根やブロッコリー・キャベツも、今では満開の花となっています。この大根は、1回目の種まき後に収穫量を心配して、後から2回目の種まきをしたものですが、結局は収穫の季節に実が大きくなりませんでした。「それならば、大根の花になるまでそのまま育てよう。」と、生長を見守っていたものです。今では、子どもたちの背丈ほどに葉を伸ばして、白いきれいな花を咲かせています。自分のペースでゆっくと大きくなり、進級と入園のお祝いに間に合わせて咲いたようにも見えます。

子どもたちは、幼稚園の生活の中で、どのようなことに心を動かしていくのでしょうか？同じ物を見ても、感じることや関わり方も様々だと思います。子どもが興味や関心を向けながら心を躍らせていることは何かと、一緒になって面白がっていく毎日は、大人の方も自分が幼かった頃のことを追体験して心が躍る毎日となることでしょうか。保護者の皆様も、子どもが関心を向けていることに寄り添いながら、一緒に思い巡らす楽しさを味わっていただければと思います。自分が関心を向けていることに共感してくれる大人の存在が、子どもたちの意欲や自信につながっていくことでしょうか。大根の花のように、子どもたちが、自分の良さを生かしながらそれぞれのペースで育とうとする力を信じていきましょう。

本園の教育目標である、「元気な子ども（げんき もりもり）」「考える子ども（ひとみ きらきら）」「思いやりのある子ども（えがお にこにこ）」の実現に向け、幼稚園では、今年度もわくわくと心が躍り、瞳がきらきらと輝くような感動体験を大切にされた環境を整え、子どもたちが心動かしながら、じっくりと見たり、じっくりと考えたり、とことん試したりできるように支えてまいります。今年度も、保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。